

IV 理 科 正 答 表 並 び に 採 点 基 準 (平成 27 年度)

問	配 点
問 1	(ア) 各 3 点 各 3 点 計 12 点
問 2	(イ) 各 3 点 各 3 点 計 12 点
問 3	(ウ) 各 3 点 各 3 点 計 9 点
問 4	(エ) 各 3 点 各 3 点 計 9 点
問 5	(ア) 各 3 点 (イ) 各 4 点 (ウ) 各 6 点 計 13 点 (ア)は正答例。 (イ)は正答例。 (ウ)は正答例。
問 6	(エ) 各 3 点 各 3 点 計 13 点 (ア), (イ)は 両方できて 3 点 (エ)は 両方できて 4 点 計 13 点
問 7	(ア), (イ)は 各 3 点 (ウ)は 6 点 (エ)は 両方できて 4 点 計 16 点 (ア), (イ)は 各 3 点 (ウ)は 6 点 (エ)は 両方できて 4 点 計 16 点
問 8	(ア) 各 3 点 (イ) 各 3 点 (ウ) 各 4 点 (エ) 各 6 点 計 16 点 (ア)は 3 点 (イ)は 両方できて 3 点 (ウ)は 両方できて 4 点 (エ)は 6 点 計 16 点
	計 100 点

採点上の注意

- 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）の判断は、校内で統一すること。
- 数値の解答については、小数点以下に0をつけたものも可とする。
例) 正答が5の場合、5.0, 5.00等も可。正答が0.05の場合、0.050等も可。

問5の(イ)について

正答例以外であっても、与えられた文字W, b, cを用い、問題に即した式であれば正答とする。

問5の(ウ)について

(1) 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、次の(a), (b)の趣旨がともに書いてある文であれば正答とする。

(a) 磁界の向きが逆になるようにする。

(b) 流れる電流の大きさが大きくなるようにする。

(2) (1)の(a), (b)いずれかの内容が不十分な場合は、それぞれ3点減点とする。

(3) 誤ったことを書き加えている場合は、(1)の(a), (b)いずれかの内容が不十分なものとして扱い、3点減点とする。

(4) 誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず1点減点とする。

※ したがって、中間点は5点、3点、2点となる。

問7の(ウ)について

(1) X, Y, Zがすべてできて正答とする。

(2) XとYがともにできて中間点2点を与える。X, Yのいずれか一方でもできていなければZにかかわらず(ウ)は誤答とする。

(3) Zについて

① 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、このかけ合わせからしわのある種子が生じるということが書いてあれば正答とする。なお、つくられる種子全体に占めるしわの種子の割合が書かれている場合、理論的な数値であれば可とする。

② 誤ったことを書き加えている場合は誤答とする。

③ 誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず1点減点とする。

※ したがって、中間点は5点または2点となる。

問8の(エ)について

(1) Zとグラフがともにできて正答とする。

(2) Zができて中間点2点を与える。Zができていなければ(エ)は誤答とする。

(3) グラフが適切な点を通る直線ならば正答とする。